7　主要な事業の概要

施策名	施設設備の充実	No.1	学務課
事業名	小・中学校教材用等備品購入事業		
概要	児童・生徒が積極的に学習に取り組む意欲を喚起し、学力の向上と健全な成長を促すことを目的とし、各校の要望を精査し、教材用備品、校用備品等の購入予算を計上、機器を選定し備品の整備に努める。		
平成29年度決算額	25,556 千円		
評価	B		
	学校からの要望を精査し、限られた予算の中で、より必要性の高い備品から順次購入しなければならなかったが、事務の遅延により納品時期や支払いが遅くなったため、今後は計画的かつ速やかな事務処理に努めていく。		

施策名	総合的な学習時間の充実	No.2	学務課
事業名	小・中学校村費負担教員及び学校教育支援員配置事業		
概要	小中学校において、児童生徒一人一人の「心」に配慮した、きめ細かい指導・助言を強化することにより、それぞれの将来へ夢と希望を育むとともに、村の将来を担う人材育成を推進する。 村費負担教諭　8人　学校臨時助手　2人　学校教育支援員　7人		
平成29年度決算額	68,137 千円		
評価	A		
	児童・生徒への個別指導やティームティーチング方式でのきめ細かい学習等の指導強化により、学力の向上が図られている。		

施策名	進路指導の充実	No.3	学務課
事業名	奨学資金貸付及び償還事業		
概要	村内に住所を有する者の子弟で就学意欲を持つ生徒であるにもかかわらず、経済的な理由により就学が困難な者に対して貸与する。 貸与人数:高校生　15名　　大学生　38名　　短期大学生　5名 専門学校生　8名　入学一時金　12名		
平成29年度決算額	貸与額:　43,920千円　　・　償還額:63,757千円		
評価	A		
	就学が困難な者に対して一助となっており、継続して支援していく。滞納については催告書の通知、償還計画変更等による改善を行っているが、今後ともあらゆる面から働きかけを行い、滞納額減少に取り組んでいく。		

施策名	教育支援の充実	No.4	学務課
事業名	要保護及び準要保護児童生徒援助事業		
概要	経済的な理由により就学が困難と認められる児童及び生徒の保護者に対し、義務教育の円滑な実施に資するため、必要な援助を行う。 ・支給費目　　学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、医療費等 ・小学校認定者数　49名　　中学校認定者数　48名　　計97名		
平成29年度決算額	5,349 千円		
評価	A		
	保護者の負担軽減が図られている。		

施策名	教育支援の充実	No.5	学務課
事業名	小・中学校入学祝金支給事業		
概要	村内の小学校および中学校に入学する児童生徒の保護者に対し、入学祝金を支給することにより、入学時における家計の負担を軽減し、もって村の定住促進及び少子化対策を図る ・小学校　92名　　中学校　74名		
平成29年度決算額	8,300 千円		
評価	A		
	保護者の経済的負担軽減が図られている。		

施策名	教育支援の充実	No.6	学務課
事業名	小・中学校給食費補助事業		
概要	学校給食に要する費用を補助することにより、保護者の経済的負担を軽減し、教育の充実を図る。 ・小学校　505名，　中学校　264名		
平成29年度決算額	36,246 千円		
評価	A		
	保護者の経済的負担軽減が図られている。		

施策名	教育支援の充実	No.7	学務課
事業名	小・中学校検定受検費補助事業		
概要	児童生徒の学習意欲の向上及び保護者負担の軽減を図るため、各種検定費を補助する。 ・漢字・英語・数学・歴史検定のうち、最も高い受検料の額を上限とし、年1回補助 ・小学校：381名　　中学校：187名		
平成29年度決算額	1,429 千円		
評価	B		
	児童生徒の学習意欲の向上及び保護者負担の軽減が図られたが、支払手続きの遅延により年度末を過ぎてからの支払いとなったため、今後は速やかな事務処理に努めていく。		

施策名	教育支援の充実	No.8	学務課
事業名	教育相談員配置事業		
概要	教育相談員による電話・来室相談や学校・家庭訪問等を行い、幼・小・中学生の生育・不登校・進学・就学等の支援、指導の充実を図る。 ・教育相談員　4人		
平成29年度決算額	8,640 千円		
評価	A		
	教育委員会と密に情報共有しながら、就学指導や教育相談等において親身に問題解決に取り組み、成果を上げている。		

施策名	教育支援の充実	No.9	学務課
事業名	通学バス運行委託事業		
概要	小中学校の統廃合による児童生徒の通学の不便性等の解消及び地域住民の交通の利便性向上を目的に、通学バスや巡回バスの運行業務を実施する。 ・小中学校通学バス:9台 ・巡回バス:1台		
平成29年度決算額	65,357 千円		
評価	A		
	児童生徒及び地域住民の交通の利便性向上に寄与した。		

施策名	高校教育の充実	No.10	学務課
事業名	六ヶ所高校通学バス委託事業		
概要	六ヶ所高校に在学する生徒の通学の確保を図り、教育の振興に寄与するため実施する。 利用生徒数:1年生　52名　2年生　62名　3年生　60名　　合計　174名		
平成29年度決算額	96,914 千円		
評価	A		
	保護者負担の軽減及び通学条件の緩和が図られている。		

施策名	高校教育の充実	No.11	学務課
事業名	六ヶ所高校活性化対策協議会補助事業		
概要	六ヶ所高校の生徒の大学進学率向上を図るため、進学を希望する1・2年生を対象に、予備校の進学講習や大学の講義を体験受講するための経費に対し補助金を交付する。 ・学習合宿参加者:夏期12名、冬期33名 ・公務員対策講座受講者:37名		
平成29年度決算額	1,195 千円		
評価	A		
	大学進学へ向けた学力の向上及び契機作りが図られ、もって進学率の向上に寄与した。		

施策名	高校教育の充実	No.12	学務課
事業名	高等学校生徒通学費等補助事業		
概要	他市町村の高等学校(六ヶ所高校及び定時制並びに通信制高校を除く)に通学(下宿)する生徒の交通費等を補助する。　利用生徒数　103名		
平成29年度決算額	8,652 千円		
評価	A		
	保護者負担の通学費等(下宿含む)が軽減及通学条件の緩和が図られている。		

施策名	教育施設の整備充実	No.13	学務課
事業名	小中学校施設改修事業		
概要	各学校施設を健全な状態で維持するため、必要な修理・修繕等を行い、児童生徒の安全を確保する。 ・小学校　南小学校植栽工事ほか　計33件 ・中学校　千歳中学校高圧受変電設備改修工事ほか　計44件		
平成29年度決算額	35,632 千円		
評価	A		
	学校施設の健全化が図られ、児童生徒の安全が確保された。		

施策名	教育施設の整備充実	No.14	学務課
事業名	教員住宅改修事業		
概要	各校教員住宅を健全な状態で維持するため、必要な修理・修繕等を行い、教職員の生活環境の改善を図る。 ・泊中学校教員住宅内装改修工事ほか　5件		
平成29年度決算額	3,169 千円		
評価	A		
	教員住宅の健全化が図られ、教職員の生活環境の改善に寄与した。		

施策名	教育施設の整備充実	No.15	学務課
事業名	泊小学校教員住宅屋根・外壁改修事業		
概要	経年劣化による屋根・外壁等の損傷が著しいことから、改修工事を行い施設の長寿命化を図る。 教員住宅10棟 ・外壁全面再塗装：A～E棟（489㎡）、F～J棟（554㎡） ・外壁全面シーリング：A～E棟（798m）、F～J棟（942m） ・屋根全面塗装：A～E棟（372㎡）、F～J棟（362㎡）		
平成29年度決算額	20,466 千円		
評価	A		
	改修工事を実施したことにより、施設の長寿命化及び教員住宅の健全化が図られ、教職員の生活環境の改善に寄与した。		

施策名	教育施設の整備充実	No.16	学務課
事業名	第二中学校教員住宅屋根・外壁改修事業		
概要	経年劣化による屋根・外壁等の損傷が著しいことから、改修工事を行い施設の長寿命化を図る。 教員住宅4棟 ・外壁全面改修、屋根全面吹き替え（279㎡）		
平成29年度決算額	15,336 千円		
評価	A		
	改修工事を実施したことにより、施設の長寿命化及び教員住宅の健全化が図られ、教職員の生活環境の改善に寄与した。		

施策名	特別活動の充実	No.17	学務課
事業名	「六ヶ所村夢をはぐくむ教育」推進事業		
概要	知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童・生徒を育成するため、創意工夫を凝らし、個を生かし生きる力をはぐくむ学校教育を支援する。 ・村内全小中学校に活動費を助成		
平成29年度決算額	3,340 千円		
評価	A		
	個性を伸ばし、生きる力が育まれ、人間性豊かな児童・生徒の育成が図られている。		

施策名	学校教育の振興	No.18	学務課
事業名	学校教育振興会補助事業		
概要	学校教育の振興を図ることを目的に、学校教育振興計画の策定、基礎資料の調査及び研究結果、児童・生徒の学芸行事、体育行事、小・中・高連携教育の振興・充実を図るため補助する。 ・学芸委員会　988千円　体育委員会　4,295千円　事務局　1,900千円		
平成29年度決算額	7,183 千円		
評価	A		
	小中学校及び高等学校の教育振興が図られた。		

施策名	特別支援教育の充実	No.19	学務課
事業名	就学指導委員会補助事業		
概要	心身に障害のある児童、生徒等の障害の種類、程度について、専門的立場から調査及び審議を行い、適正な就学ができるよう、適切な指導する。 委員会　5回　対象5名		
平成29年度決算額	216 千円		
評価	A		
	年々対象児童数が増加傾向にあり、幼稚園、保育所と連携し情報の共有に努めている。期待通り成果が上がっており現状のまま継続する。		

施策名	特別支援教育の充実	No.20	学務課
事業名	特別支援教育就学奨励事業		
概要	特別支援学級に在籍している児童生徒の保護者に対して、経済的負担を軽減するため奨励費を支給する。 対象者数　小学生　8名　中学生　3名　　計11名		
平成29年度決算額	133 千円		
評価	A		
	保護者の軽減負担が図られて、期待通り成果が上がっており現状のまま継続する。		

施策名	特別支援教育の充実	No.21	学務課
事業名	通級による指導通学費補助事業		
概要	小学校の普通学級及び特別支援学級に在職し、ことばの教室に通級する児童の保護者に交通費を助成する。(若葉小学校で実施) 対象者数　小学生　1名		
平成29年度決算額	40 千円		
評価	A		
	保護者の軽減負担が図られて、期待通り成果が上がっており現状のままま継続する。		

施策名	体育・健康教育の充実	No.22	学務課
事業名	泊小学校水泳プール監視業務委託事業		
概要	児童・生徒の体力の向上と健全育成等を目的に水泳プールを開設する。利用者の安全確保を図るため、開設期間の監視業務及び利用前後の清掃業務を委託することにより衛生管理と安全確保が図られる。 7月3日～9月8日までの内60日　937名　利用		
平成29年度決算額	1,731 千円		
評価	A		
	児童・生徒の体力向上が図られた。		

施策名	体育・健康教育の充実	No.23	学務課
事業名	学校保健会補助事業		
概要	学校保健の研究並びに普及発展を図るため、関係者が協力し学校保健の向上に資することを目的に、保険思想の普及啓発、事業の企画及び実施、調査研究、学校保健資料の斡旋などを行うために補助する。		
平成29年度決算額	465 千円		
評価	A		
	期待通り成果が上がっており現状のまま継続する。		

施策名	体育・健康教育の充実	No.24	学務課
事業名	学校検診・就学時健診・教職員健診事業		
概要	児童生徒・教職員の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資することを目的として、学校保健法に基づき実施する。 ・内科・歯科・眼科・耳鼻科検診、尿・心電図・血液・貧血検査、就学時健診、成人健診等		
平成29年度決算額	2,831 千円		
評価	A		
	学校健診を行うことにより、児童生徒及び教職員の健康の保持増進が図られ、学校教育が円滑に実施されている。		

施策名	体育・健康教育の充実	No.25	学務課
事業名	学校医・薬剤師委嘱事業		
概要	学校における健康管理に関する専門的事項に関し、技術及び指導に従事していただくため学校保健法に基づき学校医、薬剤師を委嘱する。 学校医3名　学校歯科医1名　薬剤師 1名		
平成29年度決算額	1,214 千円		
評価	A		
	期待通り成果が上がっており、現状のまま継続する。		

施策名	安全教育の充実	No.26	学務課
事業名	学校災害共済給付事業		
概要	日本スポーツ振興センターと学校の設置者との契約により、学校の管理下における児童生徒の災害（負傷、疾病、障害又は死亡）に対して、災害共済給付を行う。		
平成28年度決算額	730 千円		
評価	A		
	期待通り成果が上がっており、現状のまま継続する。		

施策名	学習環境の整備充実	No.27	学務課
事業名	村営学習塾運営業務委託事業		
概要	村の将来を担う人材育成に向け、児童生徒の学習意欲の向上や、家庭学習習慣の確立、基礎学力の向上を図るため実施する。 受講生 【小学校】 5年生　19人　6年生　23人 【中学校】 1年生　10人　2年生　13人　3年生　27人 合計　102人		
平成29年度決算額	17,489 千円		
評価	A		
	きめ細かな学習指導が実施されたことにより、児童・生徒の基礎学力の向上及び学習意欲の高揚が図られた。		

施策名	環境教育の推進	No.28	学務課
事業名	環境・エネルギー教育推進事業		
概要	児童・生徒が、エネルギー関連施設の見学や学習教材による体験学習を通して、エネルギーと環境保全に関する諸問題や、エネルギーと自分たちとの生活のかかわりについて理解を深め、エネルギーの有効利用について、自ら考える資質と能力の育成を図るため実施する。 ・各小中学校へエネルギー関連教材等購入費10万円の補助金を交付（単独事業） ・エネルギー関連施設見学会実施：泊小、尾駮小、千歳平小（補助事業）		
平成29年度決算額	919 千円		
評価	B		
	各小・中学校で、活動後に作成している感想文や校内新聞の内容に、児童生徒の思考の深まりが感じられ、エネルギーや環境に対する興味や関心が一層高まっているが、各校の学習教材購入に対する補助金の交付等が遅くなったため、今後は速やかな事務処理に努めていく。		

施策名	キャリア教育の推進	No.29	学務課
事業名	室蘭工業大学交流事業		
概要	室蘭工業大学の教授や大学生との「ものづくり」授業を通じて、科学に対する興味・関心を呼び起こし、未来の国際科学技術都市確立に向けての人材・基盤づくりを図るとともに、キャリア教育の一環として、大学生とコミュニケーションを図ることにより、将来の進路選択の一助とする。 ・室蘭工業大学：教授1名、大学生等5名参加 ・泊中学校：1年生29名参加		
平成29年度決算額	1,534 千円		
評価	A		
	室蘭工業大学の教授・学生達との交流及び「ものづくり」授業を体験したことにより、科学に対する興味・関心がわき、科学的な思考力を育てる機会の充実が図られた。		

施策名	実態に即した指導方法等の推進	No.30	学務課
事業名	学力到達調査及び学習意識調査委託事業		
概要	一人一人の児童生徒に適した学習指導方法を把握し、より短いスパンでの学力の向上を目的として、年2回の知能検査、標準学力検査、進路適性検査等を実施し、以後の指導に資する。 ・第1回　6月実施（小2～中3） ・第2回　12月実施（小1～中2）		
平成29年度決算額	3,809 千円		
評価	A		
	基礎的な内容から応用的な内容まで幅広く実態が把握でき、児童生徒の学習内容の補充と教師の指導方法等の改善につながった結果、学力の向上が着実に図られている。		

施策名	開かれた学校づくり	No.31	学務課
事業名	学校評議員配置事業		
概要	開かれた学校づくりのため、学校の教育目標、教育方針、教育活動の充実、地域の連携、学校運営に関し、学校長が意見を求めるために学校評議員を配置する。 評議員数　8校　24名		
平成29年度決算額	324 千円		
評価	A		
	定期的に会議が開催され、有識者の意見が学校経営に反映されることにより、一層地域に開かれ、活力のある教育活動が展開されている。		

施策名	世界の文化に触れる国際的な交流の推進	No.32	学務課
事業名	海外体験学習事業（小・中学校）		
概要	21世紀を担う人材育成をテーマに、国際化時代に活躍できる若い人材を育成するため、、村内小・中学校児童生徒がホームスティ等による海外体験学習を行う。 ・研修生　村内小学生14名　村内中学生13名、村外中学生4名		
平成29年度決算額	24,441 千円		
評価	A		
	児童生徒双方とも、外国人とのコミュニケーション能力、英語のスピーチ力とも向上が見られ、学校生活においても、海外体験を活かした授業への取り組み方などに効果が見られる。		

施策名	世界の文化に触れる国際的な交流の推進	No.33	学務課
事業名	語学指導等を行う外国青年（ALT）招致事業		
概要	児童・生徒に対する外国語指導の充実及び国際交流の推進を図るため、外国語指導助手を招致する。 ALT招致4名：こども園・各保育所1名、小学校2名、中学校1名		
平成29年度決算額	17,820 千円		
評価	A		
	村内こども園・各保育所及び各小中学校における外国語指導の充実及び異文化理解の促進が図られ、将来を担う人材の育成に寄与した。		

施策名	指導用教材の整備充実	No.34	学務課
事業名	タブレット端末活用支援事業		
概要	タブレット端末の導入に伴い、児童生徒及び教員が積極的かつ効果的に活用するために支援員を配置し、的確な指導や補助をすることにより授業の効率化、分かりやすい授業の構築を図る。 ・村内全小中学校3名配置（平成29年4月～平成30年3月）		
平成29年度決算額	13,284 千円		
評価	A		
	支援員を配置することにより、教員のICT活用指導力及び児童生徒の学習意欲や授業の理解度が高まり、情報活用能力の向上に寄与した。		

施策名	学校給食の充実	No.35	学校給食センター
事業名	学校給食センター管理事業		
概要	村内児童・生徒・教職員等への栄養バランスのとれた安心安全な給食の提供及び家庭における食生活改善に資するための献立表の配布並びに栄養教諭よる学校訪問の実施。		
平成29年度決算額	166,966 千円		
評価	A		
	食材に六ヶ所産の米及び野菜を使用するなど、概ね期待通りの給食の提供ができた。		

施策名	学校給食の充実	No.36	学校給食センター
事業名	バイキング給食事業		
概要	児童・生徒一人ひとりが、自分で献立の中から栄養のバランス、自分にあった量等を考え、楽しく食べながらマナーの基本を学ぶことを目的として、村内小・中学校においてバイキング給食を4回開催。		
平成29年度決算額	386 千円		
評価	A		
	概ね期待通りの成果が上がっており、現状のまま継続する。		

施策名	学校給食の充実	No.37	学校給食センター
事業名	学校給食センター運営委員会		
概要	学校給食センター運営を適正かつ円滑に行うため、運営委員会をを2回開催。		
平成29年度決算額	11 千円		
評価	A		
	概ね期待通りの成果が上がっており、現状のまま継続する。		

施策名	多種多様な学習機会の充実	No.38	社会教育課
事業名	家庭教育(乳幼児)学級開催事業		
概要	乳幼児をもつ親を対象に、学習機会を提供することにより親の資質向上を図る。 参加人数：26人		
平成29年度決算額	30 千円		
評価	B		
	・実施した育児サークル ひまわりクラブに関しては、親の満足度は高かった。 ・保育所、こども園の開催が数年ないので、この事業を利用し、ぜひ親の学びの場を提供してほしい。		

施策名	多種多様な学習機会の充実	No.39	社会教育課
事業名	小中学校家庭教育学級(地域連携学習)開催事業		
概要	児童生徒をもつ保護者及び親子を対象に、家庭での教育力の向上を図り、子育て支援の一助とするため、家庭教育に関する講演会や体験学習等を実施。各小中学校に学習会等を計画してもらい、講師謝金、交通費は社会教育課が支払う。 1小学校・2地区で実施、参加者数：98人		
平成29年度決算額	45 千円		
評価	B		
	・実施する学校が減ってきている。また内容がマンネリ化してきている傾向にある。 ・千歳中学校で実施したほほえみ講習会は、笑顔の大切さやコミュニケーションのとり方など、今後の生活に生かそうという前向きな感想が多くあげられた。		

施策名	多種多様な学習機会の充実	No.40	社会教育課
事業名	ことぶき教室開催事業		
概要	高齢者を対象とした芸術鑑賞、シャフルボード大会、特殊詐欺被害防止講演会を実施。		
平成29年度決算額	51 千円		
評価	A		
	全体的に出席率がよく、老人クラブ間や会員個々での交流を深めることができた。また、詐欺防止講演会では、警察官の話やDVDをみて詐欺防止について学んだ。		

施策名	多種多様な学習機会の充実	No.41	社会教育課
事業名	リフレッシュセミナー開催事業		
概要	現代の社会情勢をとらえ、色々な学習への意識啓発と機会を提供し、よりよい生活づくりと仲間づくりをする。		
平成29年度決算額	17 千円		
評価	A		
	無添加石鹸作りを行った。受講者の満足度は高く、次回の開催を希望する声が多かった。		

施策名	多種多様な学習機会の充実	No.42	中央公民館
事業名	中央公民館講座開設事業		
概要	趣味や教養を高めるための様々な講座等を開設することにより、村民の学習機会の充実を図る。パッチワークやエアロビクス等11講座開設。 実施回　6月～11月まで　56回　受講者数：478人		
平成29年度決算額	763 千円		
評価	A		
	受講者から満足したとの声が多く、目的を達成できた。今後も村民のニーズに対応できるような講座を実施したい。		

施策名	学習成果の活用	No.43	中央公民館
事業名	村民文化祭開催事業		
概要	公民館講座の受講者、文化協会会員、保育所・こども園児等による作品の展示や、児童生徒の音楽発表及び芸能発表等を実施。参加型のワークショップは公民館講座の内容を体験できるため大変好評であった。		
平成29年度決算額	745 千円		
評価	A		
	個性的な作品を多数展示することができ、来場者から高い評価を得ることができた。また、発表部門においても、新たに社会教育団体に登録した女声合唱団セイポスティが文化祭初参加で、舞台発表を盛り上げてくれた。		

施策名	学習成果の活用・世代間交流の推進	No.44	中央公民館
事業名	民俗芸能発表会開催事業		
概要	祖先からの貴重な遺産である獅子舞・神楽等の発表会を開催。29年度は泊地区ふれあいセンターで開催。横浜町からの友情出演あり。		
平成29年度決算額	193 千円		
評価	B		
	・発表機会を提供することで保存会等の稽古が活発化している。 ・観客が少ないので、広報のみでなく村内放送など周知に努める必要がある。		

施策名	各種団体等との連携強化	No.45	社会教育課
事業名	社会教育団体等補助金交付事業		
概要	文化協会、連合婦人会、連合PTA等の社会教育団体の活動に対し財政的支援を行うことにより、その活動の活性化を図る。		
平成29年度決算額	1,808 千円		
評価	B 団体が掲げる事業計画が実施され、期待どおりの成果が上がっている団体もあるが、活性化につながるような工夫が必要な団体もある。		

施策名	地域課題解決に向けた地域活動への住民参加促進	No.46	中央公民館
事業名	分館運営委託事業		
概要	地区館のない地区に分館を設置し、地区独自の行事や学習会等を実施する。		
平成29年度決算額	3,129 千円		
評価	B 各分館が独自の事業を展開しているが、盛んではないところもみられる。		

施策名	青少年の体験活動の充実	No.47	社会教育課
事業名	ジュニアリーダー研修会開催事業		
概要	小学生の高学年を対象にした研修会を実施する。小川原湖青年の家で創作活動等を実施。 参加人数：37人		
平成29年度決算額	86 千円		
評価	A 団体生活を通じて自分の役割を認識し、仲間と協力し助け合い、周りへの思いやりが多々見られた。		

施策名	青少年の体験活動の充実	No.48	社会教育課
事業名	少年少女発明クラブ活動事業		
概要	児童生徒が創作活動を通じて考えたり工夫する力をつけ、夢や希望にあふれた心豊かな人間形成を図る。専門指導員による創作活動や化学実験の実施、ロボットコンテストへの参加。 小学3年生から中学3年生まで13人所属		
平成29年度決算額	293 千円		
評価	B 例年土曜日を活動日としていたが、途中から日曜日にしたところ普段参加できない子どもも参加できた。作品に関しては、毎年同じようなものになってしまうので、変化をつける。		

施策名	青少年の体験活動の充実	No.49	中央公民館
事業名	成人式運営事業		
概要	新成人を祝うため実施。対象は、平成9年4月2日から平成10年4月1日生まれの村内中学校を卒業した者、及び村内在住者。 対象者：157人　　出席者：93人		
平成29年度決算額	643 千円		
評価	A		
	例年どおり、厳か且つ円滑に式が執り行われた。		

施策名	スポーツをする機会の充実	No.50	社会教育課
事業名	スポーツ教室開催事業		
概要	村民の健康の増進と競技スポーツ及び生涯スポーツの振興を図るため、バスケットボール教室、親子スケート教室を開催。		
平成29年度決算額	115 千円		
評価	B		
	バスケットボール教室は、昨年度から引き続き、プロバスケットチームのスクールコーチと選手を招いて開催した。今年度は、参加対象を小学生に絞って開催し、より細かい指導ができていた。親子スケート教室は、参加者が集まらず残念ながら中止となった。		

施策名	スポーツをする機会の充実	No.51	社会教育課
事業名	スポーツ大会開催事業		
概要	競技スポーツや家族で気軽に参加する軽スポーツの推進、生涯スポーツの普及振興を図るため、軽スポーツ・レクリエーション大会、スポーツ少年団野球大会、バスケットボール大会、バレーボール大会、シャフルボード大会などを開催。		
平成29年度決算額	1,929 千円		
評価	B		
	村民体育大会にかわる事業として、軽スポーツ・レクリエーション大会を開催。悪天候によりグラウンド・ゴルフは中止となったが、ふらばーるバレーボールは初めての試みだったが盛り上がった。		

施策名	各種団体・個人支援	No.52	社会教育課
事業名	県民駅伝競走大会参加事業		
概要	市町村対抗で8区間を一般（高校生以上）4人、中学生男子2人、女子（中学生以上）2人の構成で競う駅伝大会に参加。 2回の選考会、7月～9月の中学生強化練習、2月～3月の中学生強化練習、3回の強化合宿を行い競技力の向上を図る。		
平成29年度決算額	2,500 千円		
評価	A		
	年間を通して選手の強化を図り、村の部5連覇を達成した。		

施策名	各種団体・個人支援	No.53	社会教育課
事業名	全国大会等参加競技団体支援事業		
概要	東北大会、全国大会に参加する各種団体・個人に大会参加に係る費用の一部を補助し、費用負担の軽減を図る。		
平成29年度決算額	1,472 千円		
評価	A		
	東北大会、全国大会に参加する個人・団体に対し費用の一部を助成することにより参加者の費用負担の軽減を図られ、期待通りの成果が上がった。		

施策名	各種団体・個人支援	No.54	社会教育課
事業名	社会体育団体補助金交付事業		
概要	地域のスポーツ振興の中核をなす体育協会の活動及びスポーツ少年団の活動に対する補助金交付。		
平成29年度決算額	14,690 千円		
評価	A		
	体育協会及びスポーツ少年団の活動に対して補助することにより、体育協会関係としては青森県民体育大会で総合3位に入賞、スポーツ少年団関係としては六ヶ所FCが県大会に出場する等の成果が上がっている。		

施策名	住民のニーズに合わせた施設の運営	No.55	社会教育課
事業名	大石総合運動公園及び総合体育館管理運営事業		
概要	施設の定期点検や適時の維持・修繕等に努め、施設の適正な管理運営により、地域住民に対する利用サービス提供の効果及び効率を向上させる目的で指定管理に管理委託。		
平成29年度決算額	41,015 千円		
評価	A		
	本村における体育振興の拠点となる施設であり、子どもから高齢者に至るまで、幅広く利用されており、村民の健康増進とスポーツの普及振興に効果を上げている。		

施策名	住民のニーズに合わせた施設の運営	No.56	社会教育課
事業名	千歳平地区体育館及び屋内グラウンド管理運営事業		
概要	施設の定期点検や適時の維持・修繕等に努め、施設の適正な管理運営により、地域住民に対する利用サービス提供の効果及び効率を向上させる目的で指定管理に管理委託。		
平成29年度決算額	6,554 千円		
評価	A		
	千歳地区における体育振興の拠点となる施設であり、子どもから高齢者に至るまで、幅広く利用されており、村民の健康増進とスポーツの普及振興に効果を上げている。		

施策名	住民のニーズに合わせた施設の運営	No.57	社会教育課
事業名	屋内温水プール管理運営事業		
概要	施設の定期点検や適時の維持・修繕等に努め、施設の適正な管理運営により、地域住民に対する利用サービス提供の効果及び効率を向上させる目的で指定管理に管理委託。		
平成29年度決算額	116,912 千円		
評価	A		
	本村における体育振興の拠点となる施設であり、子どもから高齢者に至るまで、幅広く利用されており、村民の健康増進とスポーツの普及振興に効果を上げている。また、魅力的なイベントを企画、開催し、利用率増加に貢献している。		

施策名	文化活動の拡充	No.58	社会教育課
事業名	生涯学習イベント「キラキラライフフェスティバル」開催事業		
概要	生涯学習の場の提供や情報を提供することにより、学習活動への参加を促し、一人一人の生涯学習意欲を高め、主体的に学ぶことの楽しさを実感できるよう、県内外で活躍する方を招き講演やワークショップなどを開催し、意識高揚、生きがい作りのきっかけとして開催する。		
平成29年度決算額	498 千円		
評価	A		
	一ヶ所でたくさんのワークショップが体験でき、参加者の満足度は高かった。また新たに社会教育団体に登録した女声合唱団セイポスティの初めての発表の場となった。		

施策名	多種多様な学習機会の充実	No.59	泊地区ふれあいセンター
事業名	成人講座開講事業		
概要	1年を通し地域住民へ充実した生涯学習の機会を提供し、教養をより深めることができるようにサポートする。 ・茶道、パッチワークや料理教室等11講座を開設し、45回開催、参加者数延べ269名。		
平成29年度決算額	460 千円		
評価	A		
	好評の講座においては定員をほぼ満たすことができ、地区館祭や村民文化祭へ多数出展、料理教室においても満足度が高く、次年度もニーズに対応した講座を開設したい。		

施策名	多種多様な学習機会の充実	No.60	泊地区ふれあいセンター
事業名	高齢者教室開催事業		
概要	地域高齢者の方が学習活動へ参加する楽しみや健康で充実した日常生活を過ごしていただくため、継続教室として切り絵を9月21日（木）、22日（金）に参加者8名で実施した。		
平成29年度決算額	16 千円		
評価	A		
	初心者から経験者向けの図案を多数用意し、完成時の達成感が得られており、今後も継続する。		

施策名	多種多様な学習機会の充実	No.61	泊地区ふれあいセンター
事業名	サークル活動支援事業		
概要	地域でサークル活動している団体がスムーズに活動できるよう支援する。 ・施設利用団体は6団体、開催数87回、参加者数延べ724名。		
平成29年度決算額	14 千円		
評価	A		
	登録6団体においては、継続した活動を実施しており、今後も活動支援を行う。		

施策名	学習成果の活用	No.62	泊地区ふれあいセンター
事業名	泊地区ふれあいセンター祭開催事業		
概要	講座やサークル活動での学習成果の発表と作品展示の機会を提供し、当館の利用促進と芸術・文化活動の振興を図るため開催、芸能発表5団体、作品出展数716点。		
平成29年度決算額	334 千円		
評価	A		
	学習成果の発表と作品展示を通じ、地域住民の交流と親睦に貢献できた。		

施策名	青少年の体験活動の充実	No.63	泊地区ふれあいセンター
事業名	青少年教室開催事業		
概要	地域の世代間交流を図ることを目的とし、折り紙教室と餅つき会を開催、放課後教室児童ら延べ59名と大人（老人クラブ・婦人会）18名が参加した。		
平成29年度決算額	23 千円		
評価	A		
	今後も地域文化伝承を体験できるものを企画し、反映させたい。		

施策名	青少年の体験活動の充実	No.64	泊地区ふれあいセンター
事業名	青少年映画鑑賞会開催事業		
概要	地区児童を対象とした映画館鑑賞会として7月14日（金）に「リトルプリンス～星の王子様と私」を上映、大画面による迫力ある映像と臨場感を体験してもらった。鑑賞者は泊小学校児童45名。		
平成29年度決算額	130 千円		
評価	A		
	映画館に足を運ぶ機会が少ない児童もいるため、今後も継続する。		

施策名	住民のニーズに合わせた施設の運営	No.65	泊地区ふれあいセンター
事業名	貸し館事業		
概要	地区の主要拠点として利用促進を図り、講座やサークル活動の他、放課後教室、葬儀等の利用に対応、年間利用者数延べ18,157人。		
平成29年度決算額	653 千円		
評価	A		
	利用者は増加しているが、利便性の向上に取り組み、更なる利用促進に努めたい。		

施策名	住民のニーズに合わせた施設の運営	No.66	泊地区ふれあいセンター
事業名	泊地区ふれあいセンター浴場施設管理運営事業		
概要	適切な維持管理及び運営により、地域住民を含む利用者に対するサービス提供の効果と効率の向上を目的に指定管理業務を委託する。		
平成29年度決算額	11,407 千円		
評価	A		
	泊地区を中心とした子どもから高齢者に至るまで幅広く利用されており、地域の健康とやすらぎが得られる施設として機能している。		

施策名	多種多様な学習機会の充実	No.67	千歳平地区公民館
事業名	公民館講座開講事業		
概要	管内在住者及び在勤の人を対象に生涯学習の機会を提供し、学習を通じて受講生の交流や生涯学習意欲の高揚を図る目的で4講座を開設。延べ304人の参加者があった。		
平成29年度決算額	284 千円		
評価	A		
	昨年に比べ参加者が減少しており、新しい講座を開設するなど地域住民の要望に応える活動を行っていく。		

施策名	多種多様な学習機会の充実	No.68	千歳平地区公民館
事業名	ミニ講演会等開催事業（韓国のちょうちん作り、べこ餅作り講習会）		
概要	国際交流を考える講習会として韓国のちょうちん作り 食育を考える実技講習会として、べこ餅作りを体験。		
平成29年度決算額	16 千円		
評価	A		
	大変好評で、期待どおりの成果が上がった。べこ餅作りを継続するとともに、他の講習会も模索する。		

施策名	学習成果の活用	No.69	千歳平地区公民館
事業名	千歳平地区公民館祭開催事業		
概要	生涯学習の成果を発表する場つくり、芸術・文化活動の振興と意識の高揚を図る目的で、2月第1、日曜日に開催。作品展は252人が443点を出展。継続。		
平成29年度決算額	177 千円		
評価	A		
	作品数、質とも年々向上しており、来館者も増え期待どおりの成果が上がっている。		

施策名	地域課題解決に向けた地域活動への住民参加促進	No.70	千歳平地区公民館
事業名	環境美化運動事業		
概要	花植え・花壇の管理作業をとおして、花のある風景づくりから環境美化の意識の高揚を図る目的で実施し、花の苗3,638鉢を配付。		
平成29年度決算額	240 千円		
評価	A		
	自治会の年中行事に組み込まれ、概ね期待どおりに進められた。今後も継続する。		

施策名	青少年の体験活動の充実	No.71	千歳平地区公民館
事業名	管内小・中学校映画鑑賞開催事業		
概要	映画鑑賞会をとおして、限りない未来をもつ青少年の豊かな情操育成を図る目的で管内、千歳平小学校（注文の多い料理店）・千歳中学校（くちびるに歌を）を対象に開催。		
平成29年度決算額	281 千円		
評価	A		
	本格的な映画を見ることができる貴重な事業である。1年生から6年生までを対象とする作品選定が難しいが、ビデオやテレビと違う臨場感があり、児童も満足している。今後も継続する。		

施策名	スポーツをする機会の充実	No.72	千歳平地区公民館
事業名	健康づくり事業		
概要	体力の増進と明るく健全な生活向上を図ることを目的とし「エアロビクス教室」を開催。開催回数6回、延べ69人が参加した。		
平成29年度決算額	57 千円		
評価	A		
	運動不足の解消、体力増進につながり期待どおりの成果があがっており、今後も継続する。		

施策名	文化活動の拡充	No.73	千歳平地区公民館
事業名	広報活動事業		
概要	公民館活動の情報提供を目的とする広報誌「公民館だより　オアシス」を、館内5地区及び笹原分館地区3地区に毎月495部を配布。		
平成29年度決算額	69 千円		
評価	A		
	地区住民に毎戸配布しており、期待どおりの成果が上がっているため今後も継続する。		

施策名	多種多様な学習機会の充実	No.74	郷土館
事業名	他施設見学体験事業		
概要	・県内にある博物館等施設を見学し、郷土館と他施設の展示の違いなどについて知ってもらうことで、当館に対する関心を深めてもらう 場所:あおもり北のまほろば歴史館(青森市) 実施日:平成29年10月21日(土)　参加者:3名		
平成29年度決算額	2 千円		
評価	B		
	・広報誌とホームページでの周知のみではあまり参加者が集まらなかったため、他の媒体も活用して周知を図り参加者増加につなげたい。		

施策名	学習成果の活用	No.75	郷土館
事業名	パッチワークサークル作品展開催事業		
概要	中央公民館で活動しているパッチワークサークルの作品展 期間:平成29年8月19日から10月15日 期間中来館者:267名		
平成29年度決算額	8 千円		
評価	B		
	・新規に実施した事業であるが、村内だけでなく、サークル参加者の口コミによる村外からの見学者もみられ、来館者増に繋がった。一方、見学者の伸びが少なく、PR方法について工夫が必要であると感じられた。		

施策名	世代間交流の推進	No.76	郷土館
事業名	六ヶ所村の歴史講座事業		
概要	・歴史散歩「信仰の山吹越烏帽子岳登山」(平成29年6月10日実施、8名参加) 六ヶ所村と横浜町にまたがる吹越烏帽子岳に登り、山の植物や当村の地形などについて学び、村内外者の交流と郷土館の利用者増加を図る。		
平成29年度決算額	49 千円		
評価	B		
	・例年、登山場所や時期が同じであるためか参加者が減少傾向にあるため、次回以降は場所や時期の変更について検討すべきである。		

施策名	世代間交流の推進・郷土理解と自己啓発の促進	No.77	郷土館
事業名	各種伝承技術習得事業		
概要	門松作り及び餅つき体験・くじら餅作りなどを体験して、伝承文化の大切さを学ぶ。 ・郷土館農園(4区画利用、貸出期間は平成29年5月～10月) ・門松作り・餅つき体験(平成29年12月23日実施、30組・51名参加) ・くじら餅作り(平成30年2月17日実施、10組・14名参加)		
平成29年度決算額	353 千円		
評価	A		
	・新規2名の申込があり、全員から約二坪の利用範囲が適度であるとの意見が寄せられた。参加者が協力し合うことで、実施目的である「村内外者の交流」を達成することができた。また、門松を飾る時期などについての講師からの説明などにより、伝統文化の学習を図ることもできた。 ・例年に比べ少し難易度の高い作品を作ることとなったが、全員で協力してそれぞれ立派な作品を作り上げた。		

施策名	住民のニーズに合わせた施設の運営	No.78	郷土館
事業名	郷土館運営事業		
概要	村内の遺跡から発掘された当館所蔵の埋蔵文化財や六ヶ所村の民俗資料として有名な丸木舟を筆頭に民具等を効果的に展示することにより、村内外から訪れる来館者の増を図る。		
平成29年度決算額	27,613 千円		
評価	A		
	開館日数:296日　入館者数:1,576人		

施策名	郷土理解と自己啓発の促進	No.79	郷土館
事業名	手形・足形作り開催事業		
概要	・子供の誕生記念や成長記念として、粘土を使った手形・足形作りを体験してもらい、当館事業への理解を深めてもらう。　成形→乾燥→素焼き→完成 実施期間:平成29年4月1日(金)～平成30年2月28日(火) 参加者:39名(児童20名・保護者19名) 対象:小学校就学前の子供(保護者同伴)		
平成29年度決算額	8 千円		
評価	B		
	・成形前の粘土の空気抜きが不十分であったため、乾燥の過程で作品の表面にひびが入ってしまうことがあったので、成形前に空気を抜く指導を徹底したい。		

施策名	学習成果の活用	No.80	図書館
事業名	図書館フェスティバル開催事業(村民文化祭出展事業)		
概要	・平成29年10月28日(土) 村民文化祭会場にて実施、学生ボランティア(第一中学校 2年生4名、3年生3名)が読み聞かせ等に参加した。 ・実施イベント　大型絵本読み聞かせ、工作(フェルトのリース作り、おばけランタン作り)　かるたあそび、千本引き(くじ引き)、おえかきハウス		
平成29年度決算額	73 千円		
評価	A		
	開催時間の延長や読み聞かせ後のくじ引きなどイベント内容の見直しによって前年度よりも集客できた。学生ボランティアの協力により、工作活動やかるた遊び等全般において好評だった。		

施策名	各種団体等との連携強化	No.81	図書館
事業名	図書館協議会開催事業		
概要	第1回図書館協議会 5月23日(火)、第2回図書館協議会 7月26日(水) 開催 六ヶ所村子ども読書感想文コンクール審査会 9月14日(木)、20日(水)、21日(木)、22日(金)開催 各日程ごとに協議委員が集まり作品を読み投票した後、教育委員会指導グループマネージャーの最終審査により各賞を決定した。		
平成29年度決算額	150 千円		
評価	A		
	読書感想文コンクールの審査会において、協議会委員と川村指定管理準備室長が村内の子どもたちの参加作品全てに目を通し、一つ一つ丁寧に審査した。		

施策名	家庭教育支援の充実	No.82	図書館
事業名	図書館利用促進事業		
概要	・ブックスタート:保健相談センターで毎月行われる1歳児健診時に訪問して、読み聞かせをするとともに、図書館内で開催されるおはなし会の広報活動を行う。 ・ブックレース:夏季・冬季の年間2回実施。本を読むごとにスタンプを貯め、年齢に合わせた規定数に達したら図書カードを進呈する。 ・[新規]どくしょノート:100冊を目標に読書記録とスタンプを貯め、達成したら文具を進呈する。(0歳から中学生までが対象) ※通年で行うが、上記ブックレース実施期間はどちらか一方への参加とする。 ・夏のおはなし会:8月9日、小学生を対象として図書館職員による『こわーいおはなし会』を開催。 ・冬の出張おはなし会:冬休み中に放課後教室に出張してビブリオトークや百人一首、読み聞かせを行った。 ・春・秋・冬の読書週間期間(それぞれ20日間)には、季節の本の展示と、除籍本の提供を行った。		
平成29年度決算額	102 千円		
評価	A		
	年2回行われるブックレースでは、「遠隔地の利用者は期間中に終了できない」との意見があったため、どくしょノートを通年で実施したところ好評だった。 引き続き利用者の意見を積極的に聞き取り、反映して改善に努めたい。		

施策名	青少年の体験活動の充実	No.83	図書館
事業名	六ヶ所村子ども読書感想文コンクール事業		
概要	第8回六ヶ所村子ども読書感想文コンクール(図書館協議会 主催) 参加者総数 201名 ・小学校低学年・中学年・高学年、中学校各部ごとに最優秀賞・優秀賞・入賞作品を決定し、賞状と副賞(図書カード)を進呈した。 第一次審査を図書館協議会委員6名と川村指定管理準備室長が、第二次審査を教育委員会指導グループマネージャーが行い決定した。		
平成29年度決算額	152 千円		
評価	B		
	各賞受賞者の決定については、厳正な審査会において滞りなく行われた。 『青少年読書感想文コンクール』の課題図書や読書感想文の書き方等の図書を積極的に購入・展示し、より意欲的に取り組んでもらうよう努めた。		

施策名	地域コーディネーターの養成・文化団体活動の支援	No.84	図書館
事業名	図書館ボランティア活動支援事業		
概要	1.六ヶ所おはなしの会 森のくまさん 登録人数 8名 ・館内の絵本コーナーで月2回『おはなし会』を開催。(0～3歳向け・3～6歳向け、所要時間30分程度) ・尾駮小学校 朝読書支援を実施 ・青森県と社会教育課の共済事業『絆でつながる家庭教育セミナー「子育てサロン」』に協力 2.六花おはなしの会 登録人数 6名 ・千歳平小学校、南小学校を中心とした朝読書支援を実施 ・村内放課後教室、公民館祭りでの読み聞かせを実施 ・ぼんてん荘での読み聞かせを実施 3.泊地区図書サークル 登録人数 6名 ・泊小学校の朝読書支援を実施 ・泊地区放課後教室、公民館祭りでの読み聞かせを実施 ・ぼんてん荘での『昔遊び』を実施		
平成29年度決算額	7 千円		
評価	A		
	『六ヶ所おはなしの会 森のくまさん』の結成後から継続した活動が評価され、村の『文化奨励賞団体の部』を受賞した。また3団体ともに各地区小学校の朝読書活動に貢献している。 今後も各団体の活動が円滑に行われるよう、支援を継続する。		

施策名	住民のニーズに合わせた施設の運営	No.85	図書館
事業名	図書館運営事業		
概要	図書資料及び視聴覚資料の充実に努め、住民のニーズに応じた情報の早期提供と読書活動の支援に努める。 平成29年度 蔵書総数 47,463点 うち購入数 2,116点 購入数内訳 図書資料 一般図書 1,300冊 児童図書 751冊 計 2,051冊 視聴覚資料 DVD 51点 CD 11点 CD文庫 3点 計 65点 貸出者数 10,413人（1日平均 34.7人 前年度比 124%） 貸出資料数 32,370点（1日平均 107.9点 1人あたり 3.1点 前年度比 117%） 平成29年度蔵書点検業務 6月7日(水)～6月11日(日) 実施 図書利用カードのデザインリニューアル（図書館協議会委員長 髙橋喜美夫氏によるデザイン）		
平成29年度決算額	4,324 千円		
評価	A		
	図書資料及び視聴覚資料の充実に努め、住民のニーズに応じた情報の収集と提供を行った。		